

能の出演者 Performer of Noh

1 シテ 物語の主役です。演出も行います。 **2 ワキ** シテの相手役です。 **3 後見** こうけん 舞台の監督役です。

4 地謡 じうたい 謡のうち、シテやワキのセリフ以外の情景や心情を描いた部分を担当します。 **5 囃子方** はやし しかた 舞台上で楽器を演奏します。

アイ … 能の前後場の間をつなぐ狂言をアイ（間狂言）と呼びます。



6m四方の本舞台には檜板が縦に張られています

楽しく観る 3つのポイント Three points for enjoy

- 1** 初めてや久しぶりに観る方には、正面の席がおすすめ！
※人気の演目は開演前から並んでいることもあります。
- 2** 事前にあらすじを理解しておくど、より舞台を楽しめます！
※当日はあらすじを配布します。また、県立能楽堂のホームページでも事前にあらすじを確認することができます。
- 3** 眠くなったら、雰囲気を感じながら眠るのも一つの方法！
※後半のクライマックスは必見。

＼ 皆さまの声 ／

- ・こんな文化（舞台表現）があるのだと初めて知った。
- ・能舞台が凜としていて美しい！
- ・タイムスリップしたような雰囲気にはまりました。
- ・本物の能をこんなに気軽に観られるなんて、石川県民は恵まれている！

金沢能楽美術館 関連行事

「冬の観能の夕べ プレ講座〈全2回〉」

（各回60分・定員40名）

金沢能楽会の人気能楽師が、見どころを分かりやすく紹介します。 **参加無料（要観覧料、要申込）**

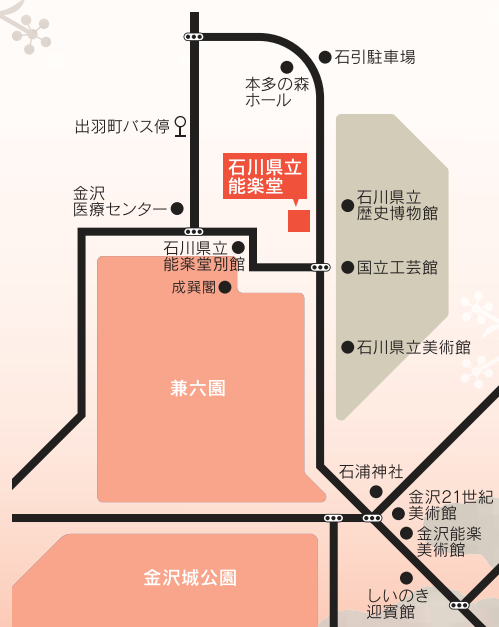
第1回	第2回
1/22(土) 10:30～ 1/22・29、2/5の演目解説 講師：藪 克徳	2/12(土) 10:30～ 2/12、3/5の演目解説 講師：佐野 弘宣

詳しくは金沢能楽美術館のホームページをご覧ください。

■お申し込み・お問い合わせ 金沢能楽美術館 金沢市広坂1丁目2番25号 TEL.076-220-2790
10:00～18:00(入館17:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日休館)

ご来場されるお客様へのお願い

- ・体調不良（発熱や咳、倦怠感など）及び感染症陽性者との濃厚接触がある方は、来場をご遠慮ください。
- ・入館の際に検温と手指消毒を行います。体温が37.5℃以上の方はご入場をお断りさせていただきます。
- ・館内では常時マスクを着用してください（マスクはご持参ください）。
- ・ひざ掛けの貸出しや飲み物のサービスは中止させていただきます。
- ・出演者への面会、贈り物をご遠慮ください。
- ・万一の場合に備え、ご来場の皆様の氏名、住所、連絡先をお伺いさせていただきます。
- ※いただいた情報は、保健所などの公的機関に提供させていただきますので、予めご了承ください。
- ・係員の指示及び注意事項に従わない場合、入場をお断りすることがあります。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、公演が中止となる場合や、公演内容が変更となる場合があります。予めご了承ください。



金沢駅兼六園口（東口）6番のりば 北鉄バス 出羽町バス停より徒歩3分

全5回

2022/1/22(土)・3/5(土)

14:30開演（13:30開場／16:30頃終了予定）
※詳しい日程は中面をご覧ください。

T H K
h o a
c e s h o
a t e r



世界無形文化遺産 能楽

冬の観能の夕べ

神・男・女・狂・鬼
五番立て魅せる
冬の能舞台

各公演

前売 **1,000円**
当日 **1,200円**

チケットのお求め

石川県立能楽堂、石川県立音楽堂チケットボックス (076-232-8632)、金沢能楽美術館 (076-220-2790)、香林坊大和プレイガイド (076-220-1332)

※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は各公演日の3日前までとなります。
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。
入場券は石川県立能楽堂でお求めください。

主催／いしかわの伝統文化活性化実行委員会

会場・お問い合わせ 石川県立能楽堂 TEL&FAX 076-264-2598
〒920-0935 金沢市石引4-18-3



令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金
（地域文化財総合活用推進事業）



「五番立」 能が魅せる5つの顔

能楽とは What's Nohgaku?

「能楽」は、継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、「能」と「狂言」から成ります。日本で最初にユネスコ(世界無形文化遺産)に登録された世界が認める伝統芸能です。

「能」では、笛や鼓による演奏と地謡と呼ばれるコーラス隊の謡にあわせて舞台上の人物が舞いながら物語を展開します。一方「狂言」は、庶民の日常生活を題材とした喜劇であり、会話を中心に物語が展開します。

加賀宝生 Kaga Hosho

金沢の能楽は、加賀藩前田家が武家の式楽として、能の宝生流(5流派の1つ)を手厚く保護・育成し、庶民にも広く推奨したことから、今では金沢といえば「加賀宝生」と言われるほど、独自の発展を遂げています。

石川県立能楽堂 Ishikawa Prefectural Noh Theater

能楽文化の保存・継承及び振興の拠点として、昭和47年全国初の独立した公立能楽堂として開館しました。能舞台は、昭和7年に建てられた金沢能楽堂本舞台を移築したもので年月を経て落ち着いた趣に満ちています。

石川県立能楽堂H.P. <https://noh-theater.jp/>



能の正式な上演形式“翁付五番立”

能が「武家の式楽(儀式用の公式な芸能)」となった江戸時代には、「能にして能にあらず」といわれる特別な曲「翁」に続き、能を役柄や曲趣によって5つのジャンルに分け順に演ずる「五番立」が行われ、「翁付五番立」が正式な上演形式となりました。冬の観能の夕べでは、特別な曲である「翁」は行いませんが、毎回各ジャンルから1曲を上演し、全5回の公演で「五番立」を行います。

公演神

一番目

1/22_土

神様を主人公とする能。世の中の平和を祝うめでたい演目が多い。

〈仕舞〉^は半^し ^{とみ}薨^{クセ} 松田 若子 〈狂言〉^ふ附^す 子 炭 光太郎
〈能〉^こ小鍛冶^か 木谷 哲也

附 子／主人は太郎冠者と次郎冠者に猛毒の附子を預けて外出する。附子が気になる二人は、毒の風に当たらないよう扇であおいで近付き、ついには附子を食べてしまうが…。

小鍛冶／帝より刀を打てとの勅命を受けた三条の小鍛冶宗近。相槌不在の窮地にある宗近は、稲荷明神に参拝し助けを求める。すると靈狐が現われ、見事に相槌を務め、名刀「小狐丸」を打ち上げる。



二番目

1/29_土

男性を主人公とする能。源平の武将の霊を主人公とする演目が多い。

〈仕舞〉^{かづら}葛^き 城 福岡 聡子 〈狂言〉^に二九十八^く 能村 祐丞
〈能〉^{ただ}忠^{のり} 度 藪 克徳

二九十八／清水寺へ妻乞いに行った男は、お告げの場所で顔を隠した女に出会う。女の謎かけを解き、住まいを訪ねる男。婚礼の盃を交わした二人は、いよいよ対面するが…。

忠 度／旅の僧が須磨の浦で老人に出会う。老人は平忠度のかりの桜の木の下で、その弔いを頼んで姿を消す。やがて忠度の霊が昔の姿で現れ、自分の歌が「詠み人知らず」とされた事への執心を語り、命を落とした合戦の様子を再現して消える。



三番目

2/5_土

女性を主人公とする能。貴公子や草木の精が登場するものも含む。優美な舞が見どころ。

〈仕舞〉^{かさ}笠之段^の 高橋 憲正 〈狂言〉^し清^{みず} 水 中尾 史生
〈能〉^こ胡^{ちよう} 蝶 葛野 りさ

清 水／主人から清水を汲みに行くよう命じられた太郎冠者は、面倒なので、鬼に襲われたふりをして帰る。しかし主人が、冠者が置いてきた家室の桶を取りに行くと言い出して…。

胡 蝶／都を訪れた旅の僧が盛りの梅を眺めていると、女が現れる。女は、自分の正体は胡蝶の精だと明かすと、冬に咲く梅だけは縁がないと嘆き姿を消す。その夜、僧が経を手向けると、胡蝶の精が本来の姿で現れ、梅との出会いを喜び舞う。



四番目

2/12_土

愛する者を失い狂乱する女性や、恋に悩み死んだ亡霊などを主人公とする能。他のジャンルに含まれない様々な演目を含む。

〈仕舞〉^う鵜之段^の 島村 明宏 〈狂言〉^す酔^{はじかみ} 薑 炭 哲男
〈能〉^み三^わ 輪 佐野 玄宜

酔 薑／商売へ向かう途中に出会った薑売りや酔売り。互いの商売物の自慢をし、由緒の正しさを競うが、決着が付かず…。

三 輪／三輪山に住む玄賓の庵を、毎日訪ねてくる女がいる。女は寒さをしのぐための衣を乞い、玄賓は快諾する。玄賓が住まいを問うと、女は杉の木が目印だと告げ、姿を消す。その後、御神木の杉の木に衣が掛かっていると聞いた玄賓が確かめに行くと、女姿の三輪の神が現れ三輪山の神話を語る。



五番目

3/5_土

鬼や天狗などこの世ならぬ存在が登場する能。演出が派手な演目が多く、こちらも初心者におすすめ。

〈仕舞〉^{はな}花^{かたみ} 筐 渡邊 茂人 〈狂言〉^ひ樋^{さけ}の酒 能村 祐丞
〈能〉^{らい}来^{でん} 殿 佐野 弘宜

樋の酒／主人は太郎冠者に米蔵の番、次郎冠者に酒蔵の番をするよう命じて外出する。酒蔵の酒を飲み始めた次郎冠者。米蔵を離れられない太郎冠者は、二つの蔵の間に樋を渡して酒を飲みはじめが…。

来 殿／延暦寺の座主法性坊のもとに、かつての弟子、菅原道真の霊が現れ、無実の罪で果てた恨みを語る。道真の恨みにより扉は燃え上がるが、法性坊が洒水の印を結ぶと、炎は消え、道真の霊も姿を消す。すると、辺りに音楽が鳴り響き、天神が現れ、国土の安全を祝う。



※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容等が変更・中止となる場合があります。